

指定管理導入施設実績評価シート（平成26年度）

施設所管課	市民部 文化・青少年課
--------------	-------------

施設名	スカイプラザ浜大津
指定管理者	株式会社ビー・ビー・シー・サービス
指定期間	平成22年4月1日 ～ 平成27年3月31日
指定管理料	年額 27,649,000円 (総額 135,842,000円)
設置目的	音楽、演劇、その他の市民文化に係わる創作、練習、発表、鑑賞及び交流を通し、市民文化の振興を図ること。市民文化活動を推進し、新しい大津の文化の創造を支援する。
業務内容	スタジオ、練習室などの施設と附帯設備の利用許可などに関する業務。 料金の授受に関する業務。利用促進に関する業務等。 利用者が快適に施設を利用できるよう適切な管理運営を行なう。 利用者への助言、地域との文化連携。

主な成果 <small>(自主事業含む)</small>	使用料収入	目標	6,310,000 円	⇒	実績	6,370,610 円
	稼働率	目標	80 %	⇒	実績	80.8 %
	利用者数	目標	73,000 人	⇒	実績	81,412 人
	【主な自主事業実施による成果】					
3回目となった「ジャズアートセッション」は、さらに内容をグレードアップさせたことから、昨年より多くのマスコミ取材があるなど大きな反響があった。また数年前から年4回のジャズコンサートを実施してきていることが定着し、来館者増につながっている。事務局を預かっている「屋外イベント」は、4回目にして参加者1,000人来場者3,500人となって着実に成長し、地域活性化にも貢献している。						

総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B	専門的なノウハウを活かし、ジャズやフラダンス等の多様な事業を展開している。空調設備の老朽化により、光熱費がかさむ中、経費節減や事業内容の見直し等により、収支の改善に努められている。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	所管課評価
I 実施体制	施設の設置目的の達成 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	A	A
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B	B
	職員の研修 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B	B
	法令等遵守 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	B	B
	個人情報保護・情報公開 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法（実地調査）	B	B
	管理記録 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B	B
	連絡体制 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	A	A
	緊急時対応 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B	B
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】			B	B

指定管理導入施設実績評価シート（平成26年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	所管課評価
Ⅱ 内容・水準	施設管理 開館日、開館時間を遵守していたか。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	B	B
	利用状況 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	A	A
	利用者対応 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	A	A
	事業運営 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	A	A
	維持管理 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B	B
	情報提供 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B	B
	環境配慮 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	B
	意見・要望・苦情 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B	B
	利用者アンケート 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B	B
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設9項目】			B	B
Ⅲ 収支等	経理事務 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B	B
	収支状況 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B	B
	経費節減の取組 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B	B
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】			B
Ⅳ その他	その他			
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設 項目】			

特記事項等 (課題・成果)	【指定管理者】 大きな課題は、老朽化してきている空調設備で、熱効率が悪化していることから、節電などしていても26年度は70万円も増加しました。特にヤマハのガス冷暖房機(ガスヒーポン)については、大阪ガスから「交換部品供給、定期点検、故障修理、保守契約を2016年3月末までとする」と通告されています。2017年から故障すれば施設運営に支障が生じ大変なことになるため、早期に機器入替など根本対策が必要です。
	【施設所管課】 創意工夫のある自主事業の実施により施設の認知度が向上し、利用者増につながっている。

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

➡

所管課評価

➡

指定管理者

➡

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)

送付